



『チーム学校』実現事業」が始まりました！

学校教育課長 大川 淳

毎年、A小学校の4年生は、校区内の商店街で職業体験を実施しています。お店の方に指導していただきながら、商品を整頓する子やお店の外で大きな声を出して呼び込みをする子、ちらしを配布する子など、どの子も一生懸命に働く姿が見られます。また、B中学校の1年生は、地域の方々と海岸や公園の清掃をした後、一緒に「すいとん」を作って食べ、交流を深めています。このように、どの学校でも、子どもたちが地域の方々と交流しながら生き生きと活動する姿が見られます。

この目の前の子どもたちが大人になる頃は、変化が激しく予測が難しい不透明な社会になるだろうと言われています。その中で、たくましく生き抜いていくために必要な資質・能力の育成を目指して、文部科学省は今年の3月に学習指導要領を改訂しました。その中心となる考え方は、「社会に開かれた教育課程」です。その目的は、地域の人的・物的資源の活用や放課後・土曜日等における社会教育との連携等により、学校と社会が協力して、子どもたちが、自らの人生を切り拓いていくための力を育むことにあります。

沼津市教育委員会は、平成20年に、「沼津市教育基本構想」を策定し、地域と学校との連携を中心に、地域住民が総掛かりで子どもたちを育てる取組を進めてきました。

例えば、沼津版キャリア教育「沼津大志学習」により、小中学生が学校内外の様々な人たちと関わりながら、自ら学び考える活動を行っています。また、独自の教科「言語科」により、沼津の自然・文化・産業・まちづくり等に触れることで生まれる「なぜだろう」「どうすればよいのだろう」という問いについて、地域の様々な人たちとの交流を通して考え、最善の答えを導いていく学習に取り組んでいます。

本年度は、多くの地域の方々に、支援員やボランティアとして学校に入っていたり、校外で学習する児童生徒のサポートをしていただいたりすることにより、教職員と地域住民が一つのチームとなって子どもたちを育てていく『チーム学校』実現事業を開始しました。

この「チーム学校」の輪を着実に広げていきたいと考えておりますので、これからも市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



全徳の人は得難し

沼津市立浮島中学校長 田村 昭

私は日本の歴史に関心があり、日本史に関する書物を読むことが好きです。5月のある日、何気なく手にした「名将の決断」というシリーズの雑誌を読んでいると、たいへん気になる言葉と出会いました。

それは題名にもある「全徳の人は得難し、一失あれば一徳あり」という言葉です。意味は「完璧な人間などいない。悪いところもあれば、良いところもある。」ということでしょう。この言葉を述べたのは、右上のイラストの人物、そうです、「暴れん坊将軍」「米将軍」という異名で知られる江戸幕府の第8代将軍、徳川吉宗です。



これはこの言葉から私が勝手に推測したのですが、吉宗はきっと「欠点を直すことも大切だが、それ以上に、長所に目を向け、それを引き出し、さらに伸ばしていくことがリーダーの役目だ。」と考えていたのでしょう。「それができてこそ、組織の中で個人が生き、組織としても大きな力を発揮できる。」と考えていたのでしょう。その結果がああなる改革につながっていったのだと思います。

さて、子どもと接する際の我々大人はどうでしょうか？大人社会もそうだと思いますが、日頃、他者と接している時、悪い点はすぐに目に留まります。「では、その人の良いところは何だろう？」と視点を変えると、即答できない場面が多々あるのではないのでしょうか。小学生にしろ中学生にしろ、短いかもしれませんが、6年から15年の人生があります。それぞれの子どもの育ってきた家庭環境や対人関係という過去があり、そこで背負ってきたもの、背負わざるを得なかったものがあります。そこに思いを寄せ、その子に対する理解に努めた上で接すること、その子ならではの良さは何かを常に意識して接することが、親や教師などの大人にとって、たいへん重要なことだと思います。そんな大人の姿勢によって、一人一人の子どもに寄り添った温かい関わりが生れ、よりよい人間関係づくりになるのではないのでしょうか。



実は、冒頭に紹介した言葉には続きがあります。それは「一善あれば一過は許すべきなり。」です。「一つ良いことをしたならば、一つの失敗ぐらひは目をつぶるべきだ。」という意味でしょう。不思議なもので、人間は他人にはつい「完璧」を求めてしまいます。

しかし、自分自身も含め、「完璧な人」など存在しません。常に「完璧」を求めずに、視野を大きく、おおらかな気持ちで様々な個性を持つ子どもたちを、そのまま丸ごと受け入れる度量の広さの必要性を痛感させられた言葉でした。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談。
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：TEL951-3440

平成29年4・5・6月の状況

4・5・6月には新たに申し込みがあった17件（4月5件、5月5件、6月7件）を含め、72件の相談に応じました。

1 相談内容別新規相談件数

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
4月	0	4	0	0	0	1	5
5月	0	5	0	0	0	0	5
6月	0	4	3	0	0	0	7

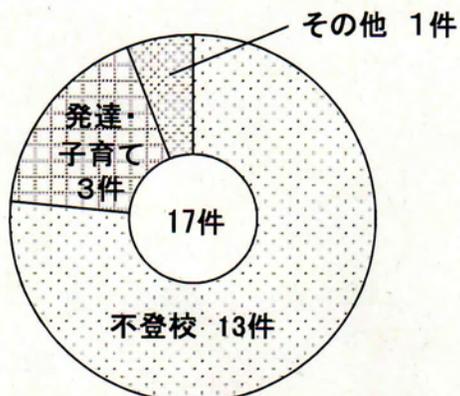
2 相談対象者別新規相談件数

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
4月	0	2	2	0	1	0	5
5月	0	2	2	1	0	0	5
6月	0	1	5	1	0	0	7

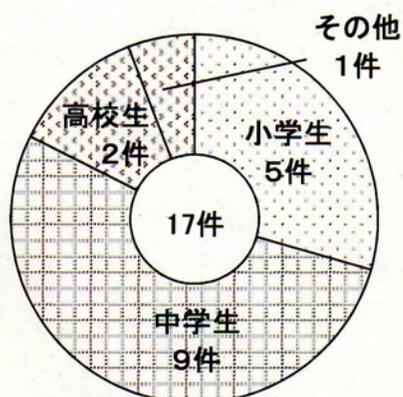
3 今年度の新規相談受付状況

受付件数 17件 （前年同期 14件）

相談内容別



相談対象者別



4 4・5・6月の相談件数（新規及び継続）

	性別	非行	不登校	発達子育	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		6					6
	女		6	2				8
中学生	男		32	2				34
	女		18	2				20
高校生	男		2					2
	女		1					1
少年	男							0
	女		1					1
一般成人	男							0
	女							0
計	男	0	40	2	0	0	0	42
	女	0	26	4	0	0	0	30
男女合計		0	66	6	0	0	0	72

5 4・5・6月の相談回数

（72件の相談延べ回数）

	面接	訪問	計
男	145	13	158
女	58	2	60
計	203	15	218

6 相談指導学級の様子

本年度は通級者1人（中学2年生）で開級しましたが、すぐに2人（どちらも中学2年生）が体験入級、仮通級を行い、現在は3人が本通級しています。



学級では、基本的に午前中は学習活動を2コマ、午後はふれあいのためのフリータイムと学習活動1コマという日課になっています。各人が自分でたてた計画

に沿って学習しています。毎週木曜日は体験活動の日として、ハイキングや創作活動、調理実習、農園体験などを行っています。どの活動でも、充実感・達成感等を十分に味わうことができます。

また、昨年度から自然の家の農園と併せて屋上でプランター菜園を作り、トマト、イチゴ、トウモロコシ、スイカなど様々な野菜を育てています。種まき、水やり、芽かきなど、作物の世話をし



ながら土に触れたり植物の様子を観察したりして、成長や収穫の喜びが感じられる取組みをしています。今年はイチゴが30個くらい収穫でき、みんなで分けて食べました。

学校復帰をめざして、高原教室などの学校行事への準備や参加を積極的に行っている通級者もいます。

電話相談

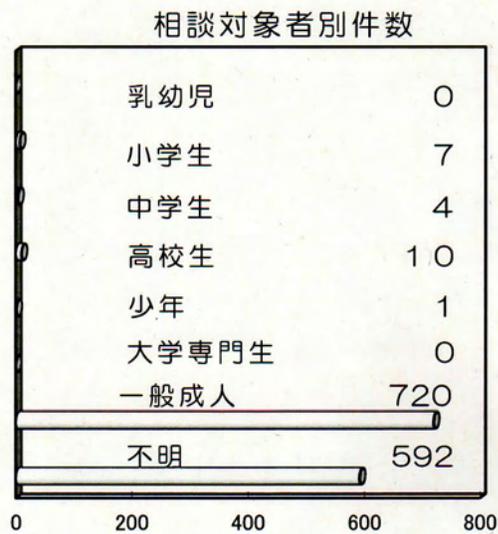
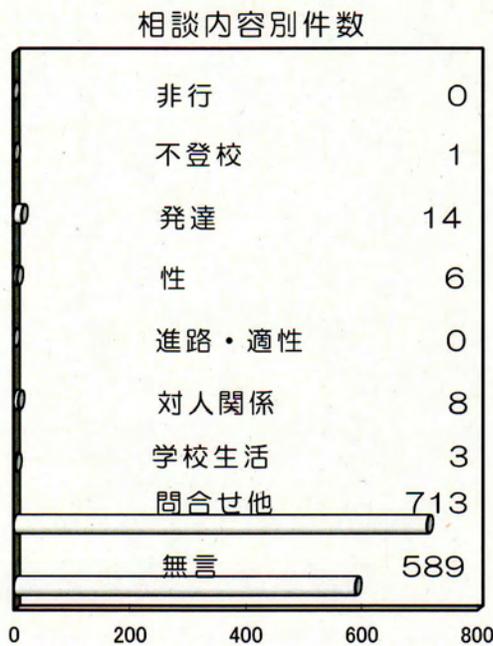


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

平成29年4・5・6月の状況

4月には390件、5月には472件、6月には472件の相談が寄せられました。
 (前年4月：334件、前年5月：230件、前年6月：152件)

1. 4・5・6月の相談状況



2 平成29年度の電話相談受信件数状況

総件数 1,334件 (前年同期716件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	1	14	6	0	8	3	713	589

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	7	4	10	1	0	720	592



私なりの補導活動

女性補導委員 上杉輝美

女性補導委員を委嘱されて3年が経ちました。仲見世商店街・イーラde・ステーションビル・駅のホーム・B i V i内などを廻っていきます。月曜日の午前中の活動であるため、文化祭や体育祭・授業参観などの代休で遊びに来ている子供たちに声をかける事が多いです。

ゲームセンターでの声かけは緊張します。児童であれば気軽に声をかけられるのですが、自分より20センチメートル以上も背の高い学生に声をかける時は、ちょっと構えてしまいます。

「こんにちは。今日は学校休み？」とドキドキしながら声をかけると、にこやかに、そして素直に答えてくれます。それが、たとえ場馴れした態度であったとしてもホッとしてしまいます。「危ないところには近寄らずに、気をつけて早めに帰ってね。」と言い、その場を離れます。振り返って見ると、その学生は友達に「声かけられちゃったあ。」と笑いながら話していました。

「これでいいのだ。」補導のおばちゃんがいることをアピールできた自己満足します。

理不尽な事件や事故が毎日のように報道されている昨今、「当たり前は、当たり前ではないんだな。」そして、「日々同じように、普通に生活できることが、どんなに幸せでありがたいことなのか。」と感ずるようになってきました。朝、元気に出かけて行ったのに戻ってこない……。考えただけでも胸が締めつけられます。

私の補導活動での声かけは、非行防止と言うより子供たちに無事に帰宅してもらうためのお手伝いであると思っています。補導委員としてまだまだではありますが、これからも子供たちに温かく接することを心がけていきたいと思えます。



1 少年補導委員の延べ参加人数（4・5・6月）

	市職員	教員	女性補導委員	母親補導委員	地区代表補導委員	警察	地区補導委員	総数
4月	7	7	7	0	9	0	227	257
5月	4	9	4	4	0	0	294	315
6月	10	10	9	3	20	1	338	391

2 補導回数・補導状況（4・5・6月）

	補導回数				注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
4月	4	15	27	46	210	0	0
5月	2	8	35	45	229	0	0
6月	4	10	40	54	333	0	0

3 補導活動（4月からの累計）

補導回数	延べ 参加補導委員数	注意・指導 愛の声かけ	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
145	963	772	0	0

4 4・5・6月の街頭補導少年の学識別状況（中央・地区別補導）

5月に新しい委員を迎えて、本年度の補導活動がスタートしました。照る日、凍える日もあるかと思われませんが、少年への温かい声かけをどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度の同時期と比べ、夜間はいかいや不良交友の件数は減りましたが、ゲームセンターへの入場件数は大幅に増え、危惧される状況にあります。



区分		学識別	性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	累四月から計の
行為種別	飲酒	男女								0	0
		男女								0	0
	喫煙	男女							1	1	1
		男女								0	0
	薬物乱用	男女								0	0
		男女								0	0
	夜間はいかい	男女				6				6	6
		男女				1				1	1
	不良交友	男女								0	0
		男女								0	0
	怠学・怠業	男女								0	0
		男女								0	0
	ゲームセンター入場	男女	7	12	70					89	89
		男女	3	8	44					55	55
	パチンコ店入場	男女								0	0
男女									0	0	
カラオケ店入場	男女								0	0	
	男女								0	0	
自転車の暴走行為	男女								0	0	
	男女								0	0	
自転車の二人乗り	男女								0	0	
	男女								0	0	
自転車の無灯火	男女				6			1	7	7	
	男女				1				1	1	
危険な遊び	男女	3	4						7	7	
	男女		2						2	2	
その他	男女	3	1	5					2	11	
	男女		15	1					1	17	
計		男女	13	17	87	0	2	2	121	121	
		男女	3	25	47	0	0	1	76	76	
男女合計			16	42	134	0	2	3	197	197	

事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男女							0	0
		男女							0	0
	他機関へ連絡	男女							0	0
		男女							0	0
男女合計			0	0	0	0	0	0	0	0

愛の声かけ運動	男女	169	48	95		1		313	313
	男女	158	40	64	1	1		264	264
男女合計		327	88	159	1	2	0	577	577

生活困窮世帯の子どもの学習支援

＝経済的な事情で学習や進学に不安のある中学生への無料学習教室の開催＝

市では、ひとり親家庭、生活にお困りの世帯などの中学生を対象にした学習支援教室を市内2か所が開講しています。中学生の日々の学習の場・ともに学ぶ友達との居場所として利用できます。

☆募集内容☆

- (対象) 市内のひとり親家庭、生活困窮世帯、生活保護世帯などの中学1～3年生及びその保護者
- (内容) 教科書や宿題を中心とした学習支援や進学対策
(料理教室や奉仕活動などのレクリエーションなども開催)
※子どもの学習・進学に関する保護者の相談にも対応
- (場所) ○沼津駅前校(大手町) 毎週月曜日・水曜日 18時～21時
○原校(原町中) 毎週火曜日・木曜日 18時～21時
(どちらも2時間程度)

(申込方法) 沼津市自立相談支援センターにお問い合わせください。

沼津市自立相談支援センター(沼津市日の出町1-15 サンウェルぬまづ2F)
TEL 055-922-1620

沼津市自立相談支援センターでは、生活困窮者自立支援法に基づき、借金等経済的な問題を抱えている、子どもの引きこもりで悩んでいる、働いた経験がない等、様々な相談を受け、中学生に対する学習支援に限らず、相談者の抱える多様な問題に対し最適な支援サービスへとつなげています。
(学習支援は(株)東海道ソノマが受託実施)

青少年教育センターの活動予定 (8・9・10月の主な活動)

※天候による変更あり

相談指導学級		はばたき活動	
8月31日(木)	農園体験	9月13日(水)	自然体験「源兵衛川探検」
9月7日(木)	ハイキング(箱根)	28日(木)	第3回チャレラン大会
14日(木)	農園体験	10月5日(木)	野外体験「野外料理教室」
21日(木)	創作活動	25日(水)	社会科見学「山中城址(案)」
28日(木)	調理体験		
10月5日(木)	丹那牛乳工場見学		
12日(木)	農園体験		
19日(木)	創作活動		
26日(木)	調理体験		
		補導関係	
		9月8日(金)	補導委員会代表者会③

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成

青少年健全育成都市宣言(昭和55年)

シンボルマーク



あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート(心)を表しています。